

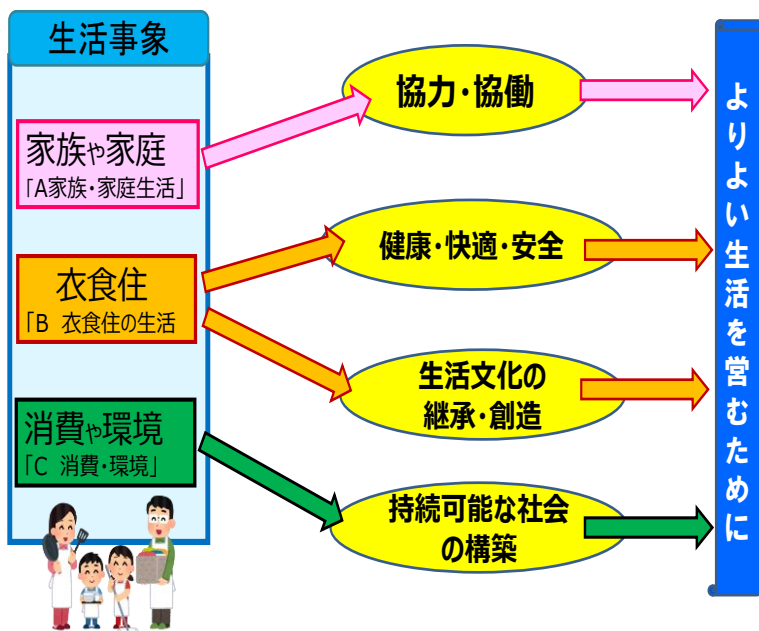
中3技術・家庭科(家庭分野) 『家庭分野 見方・考え方のおさらい』

さあ3年生! 家庭分野の学習をはじめよう。

<できたら☑を書きましょう!>

□家庭分野の学習では、よりよい生活を営むために「家族・家庭生活、衣食住の生活、消費生活・環境」の内容を3年間かけて学習していきます。その学習も残すところあと1年となりました。学習を進める際に大切なことは、「見方・考え方」を働かせて自分の考えを深めていくことです。『見方・考え方』を働かせる」とはどのようなことなのか下図を見て確認しましょう。★のキーワード(視点)を意識して、家庭生活を見つめていきましょう。

見方・考え方を働かせるとは



★協力・協働

家族や地域の人々と協力して生活するためには、どうすればよいのだろうか。

★健康・快適・安全

健康や快適, 安全に気を付けて生活するためには、どうすればよいのだろうか。

★生活文化の継承・創造

日本の生活文化を大切にして生活しているだろうか。

★持続可能な社会の構築

環境に配慮し, 豊かな未来をつくるための行動が出来ているだろうか。

①1・2年生で学習したことを振り返ってみよう。下記のキーワードを用いて、学習してよかったこと、自分の生活に役立ったこと、家族・地域・社会の一員として気が付いたことなどを書こう。【キーワード→協力・健康・快適・安全・生活文化の大切さ・持続可能な社会の構築】

②今まで学習したことを土台にして家族の一員としてどんな自分をめざしていきたいか、卒業時の自分をイメージして書こう。

その4 学習を終えて

< あてはまるところに○をかこみましょう >

…この振り返りは皆さん自身が自分の学びを振り返るためのものです。

1 家庭分野を学習する際の「見方・考え方を働かせる」とはどういうことか分かったか。

分かった・だいたい分かった・なんとかわかった・わからなかった

2. 家庭科の学習でどんな自分を目指していきたいのか考えることができたか。

考えることができた ・ まずまず考えることができた ・ 自信がないができた ・ できなかった

3. 学習を終えて、分からないことを書こう
